



# 学校だより

第  
1  
号

令和 4 年 4 月 12 日

〒184-0012 中町 1-8-25

TEL : 042-383-1162

FAX : 042-382-0402

良き社会人となるために 校長 川井 まさよ

先週、6日(水)始業式、翌日の7日(木)に入学式が行われ、全学年生徒数409名で令和4年度がスタートしました。保護者の皆様には、お子様の入学、進級、おめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

学校の役割は「良き社会人」の育成です。本校の教育目標に掲げる生徒の育成をめざし、社会に貢献できる人、すなわち、「良き社会人」の育成をめざし、今年度も生徒たちに必要な力を育てていきます。なにとぞご理解、ご協力をお願い申し上げます。

始業式と入学式では、新しい学級でのスタートに関連させ、「友達を作ること」「良い仲間をつくること」について、以下のようなお話をいたしました。



「結論から言えば友だちや仲間をつくる為には、努力が必要だと言うことです。では、どんな努力かと言えば、どんな相手に対しても自分から進んで相手に関心を示し、進んで関わりをもとうとする努力です。

ある有名な学者はこのように言っています。「雨が降ったら、みなさんは傘をさすでしょう。誰にも、雨を降らせないようにすることはできません。相手の性格や特性も雨と同じで、自分では変えることはできないのです。自分が相手に対応する仕方を変えるしかないのです。それにもかかわらず、人は皆、自分を変えようとせず、相手だけを変えようとする。それは雨を降らせないようにすることと同じで、できないことなのです。」と。実は、あなたが自分を変えようとはせず、相手だけを変えようとするから、その人が苦手だと感じているのではないのでしょうか。

またその学者は、「仲間に関心をもつことが重要だ」とも言っています。それは、相手に自分から挨拶したり、進んで積極的に話しかけたりすることです。そうすることを続けていると、相手からの信頼が得られるようになります。それが友情の始まりです。多くの、どんな人とも、こうした関係をつくっていくと仲間が増えていきます。例えば、新しいクラスの中で、積極的に進んでクラスの人達に話しかけたり親切にしたりしていくと、仲間が増えていくということです。すると、自然と、「自分はこのクラスの一員なんだ」という意識が芽生えます。それとともに、独りぼっちではないんだ、と言った、安心感も芽生えるのです。

ところで、こうなると、クラスが自分にとって大切な存在となり、自分だけが得するようなずい考えはすっかりなくなり、人のため、クラスのために役立つようとする考えが生まれてきます。それにとともに、自分はこのクラスの中で重要な存在なんだと感じるようになります。こうした考え方や行動が幸せ感を産む、とその学者は言うのです。

私はこうした、他の人のために活躍できる人を、「良き社会人」と呼んでいます。皆さんがこれから幸せな三年間を過ごし、良き社会人となっていくことを願っています。・・・」(入学式式辞より)



コロナ禍も3年目となりましたが、今年度は、日常の学校生活、行事など、様々な教育活動を「工夫して実施する」ことを推進してまいります。一人一人の生徒の成長につなげるために、今年度も、精いっぱい努力してまいります。保護者の皆様方、ご支援とご協力を、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

## 【学校教育目標】

社会の一員としての自覚を高め、豊かな想像力と実践力をもった人間の育成を目指して、

- 自他を認め、支えあう生徒
- すすんで学び、考え、行動する生徒
- 心身を鍛え、たくましく生きる生徒